「STI for SDGs」アワード　募集要項

以下に、「STI for SDGs」アワードの募集要項を記載します。応募にあたっては、応募申請用紙内に記載の「記入上の注意事項」を必ず参照してください。

1. 募集対象

科学技術イノベーション（Science, Technology and Innovation：STI）を用いて社会課題を解決することにより SDGs の達成を目指す、地域における優れた取組を対象とします。

STI については、分野、用途、新規性、技術水準等の要件を設けませんので、他地域へも展開ができるような取組を広く募集します。

2. 応募要件

STI を用いて社会課題を解決することにより SDGs の達成を目指す、地方自治体、民間企業、大学等（国公私立大学、高等専門学校、国立試験研究機関、公立試験研究機関、国立研究開発法人、公益法人・ＮＰＯ等の非営利法人）、教育機関（高等学校、中学校等）、自治会やサークル、市民ネットワーク等の団体による国内における取組であることを要件とします。

応募は自薦のみとします。

3. 表彰

- 文部科学大臣賞（最優秀賞、1 点）
- 科学技術振興機構理事長賞（1 点）
- 優秀賞（3 点程度）
- 次世代賞（高校生以下の団体による取組を対象）（3 点程度）

※賞の名称、点数などは変更になる場合があります。

4. 募集期間

令和元年 6 月 3 日（月）～8 月 30 日（金）17:00

5. 応募方法

本要項をご確認のうえ、応募申請用紙に必要事項を記入し、応募サイトからご応募ください。また、記入に当たっては応募申請用紙に記載の「記入上の注意事項」も参照ください。

※応募サイト *URL*：　*https://form.jst.go.jp/enquetes/award-2019*

6. 選考方法

選考は書類評価と面接評価の 2 段階評価によって実施します。

応募いただいた取組については選考委員会による書類評価を実施し、面接評価に進む取組を決定します。面接評価を実施した後、表彰対象となる取組を決定します。（委員一覧は別紙 1 参照）

評価は包摂性、統合性、科学技術イノベーションの活用、革新性・独創性など、8 つの評価項目を元に実施します（評価綱目詳細は別紙 2 参照）。

7. 選考結果の通知

面接評価は、9 月末までに担当者の方へご連絡のうえ、10 月中旬に実施します。

結果は、10 月末までにご連絡を差し上げます。

なお、面接評価に進まれない取組についてはご連絡を行いませんので、予めご了承ください。また、選考に関する照会は受け付けません。

8. 表彰式

表彰式は科学技術振興機構が主催する「サイエンスアゴラ」にて開催します。また、「サイエンスアゴラ」の中で表彰団体による取組を紹介することにより、他地域への水平展開を目指します。

※サイエンスアゴラの詳細については、下記でもご覧いただけます。

サイエンスアゴラのページ：　https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/

＜お問合せ先＞

アワードに関するお問合せは、以下のアワード事務局までお願いいたします。

国立研究開発法人 科学技術振興機構　「科学と社会」推進部

E-mail：　sdgs-award@jst.go.jp

▌主催：　国立研究開発法人　科学技術振興機構

▌後援：　文部科学省

別紙１：選考委員会　委員一覧

（敬称略，委員：50 音順）

役割	氏名	所属・役職
委員長	蟹江　憲史	慶應義塾大学大学院　政策・メディア研究科 教授
委　員	上田　壮一	一般社団法人 Think the Earth 理事
委　員	小原　　愛	一般社団法人 Japan Innovation Network ディレクター
委　員	白木澤佳子	国立研究開発法人　科学技術振興機構 理事
委　員	須﨑　彩斗	株式会社 三菱総合研究所 オープンイノベーションセンター　副センター長
委　員	新田英理子	一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク（SDGs ジャパン） 事務局長

別紙２：評価項目詳細

No.	項目	視点
1	包摂性	・SDGs の「誰一人取り残さない」という理念に沿った取組であるか。 ・人権の尊重や多様性の観点を勘案した取組であるか。
2	統合性	・単一の社会課題、SDGs 目標だけでなく、複数の社会課題の解決、SDGs 目標の達成を目指す、統合的解決の視点を持った取組であるか。
3	科学技術イノベーションの活用	・対象となる社会課題に対して、科学技術イノベーションが重要な役割を担っている取組であるか。
4	革新性、独創性	・社会課題の解決手段や着眼点にオリジナリティのある取組であるか。
5	展開性	・課題解決に向けた取組に普遍性があり、他地域への水平展開が可能な取組であるか。
6	継続性	・社会課題の解決が一時的なものではなく、持続的な解決が図られる取組であるか。
7	マルチステークホルダー参加型	・社会課題の当事者が主体的に参加している取組であるか。・ ・多様なステークホルダーが参画し、それぞれの英知を結集した取組であるか。
8	ストーリー性	・SDGs の達成、または社会課題の解決に向けたストーリーが明確な取組であるか。